

# 【抗HIV薬に関連する薬物相互作用一覧使用の手引き】

1) DHHS(米国保健福祉省)の初回推奨レジメンで使用される抗HIV薬並びに今後使用頻度の増加が予想される抗HIV薬についてのみ掲載しています。

2) 表中の「○」、「●」、「注」、「禁」はそれぞれ以下の内容を示しています。

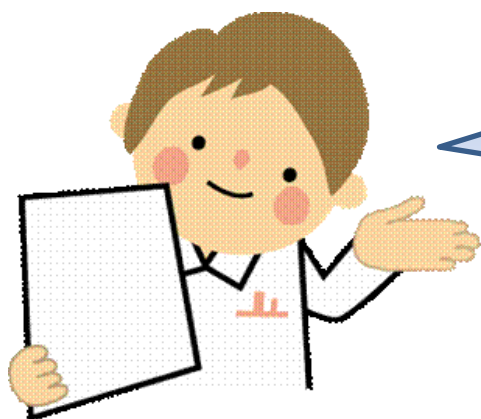
⇒ 「○」： 相互作用は生じない。問題なく処方可能。
⇒ 「●」： 相互作用が生じる可能性がある。処方可能。要経過観察。CYP3A4関連薬等。
⇒ 「注」： 併用注意。処方可能。要経過観察。
⇒ 「禁」： 併用禁忌。処方不可能。

3) 表中の「A」、「a」、「B」、「b」はそれぞれ以下の内容を示しています。

⇒ 「A」： 抗HIV薬の血中濃度が上昇する可能性がある
⇒ 「a」： 抗HIV薬の血中濃度が低下する可能性がある
⇒ 「B」： 併用薬の血中濃度が上昇する可能性がある
⇒ 「b」： 併用薬の血中濃度が低下する可能性がある
※ 「A」、「a」、「B」、「b」については以下のような組み合わせもあります。 「AB」： 抗HIV薬の血中濃度が上昇する可能性と併用薬の血中濃度が上昇する可能性の両方が考えられる。 「ab」： 抗HIV薬の血中濃度が低下する可能性と併用薬の血中濃度が低下する可能性の両方が考えられる。 「Ab」： 抗HIV薬の血中濃度が上昇する可能性と併用薬の血中濃度が低下する可能性の両方が考えられる。 「aB」： 抗HIV薬の血中濃度が低下する可能性と併用薬の血中濃度が上昇する可能性の両方が考えられる。

4) 抗HIV薬との併用禁忌・併用注意に関する新しい情報が入り次第随時更新します。

5) 表にない抗HIV薬との相互作用については薬剤師までご連絡ください。



抗HIV薬との併用に関する疑問は  
HIV担当薬剤師までご連絡ください。

※『併用禁忌・注意薬一覧』は以下の文献を基に作成しました。

添付文書、インタビューフォーム、DHHSガイドライン、HIV Insite、HIV Medication Guide、The University of Liverpool、KEGG MEDICUS